MASPRO

BCアンテナ

BC papabo

BS·110°CS ANTENNAS
BS·110°CSオフセットパラボラアンテナ
BS：11.7 ～12.2 GHz
CS：12.25～12.75GHz

BC45 (45cm) アルミ製ディッシュ　JEITA BS Digital

BC50 (50cm) アルミ製ディッシュ　JEITA BS Digital

BC60 (60cm) FRP製ディッシュ　JEITA BS Digital

偏波面電圧切換（DC11V/15V）方式

BS·CS Digital 110°王

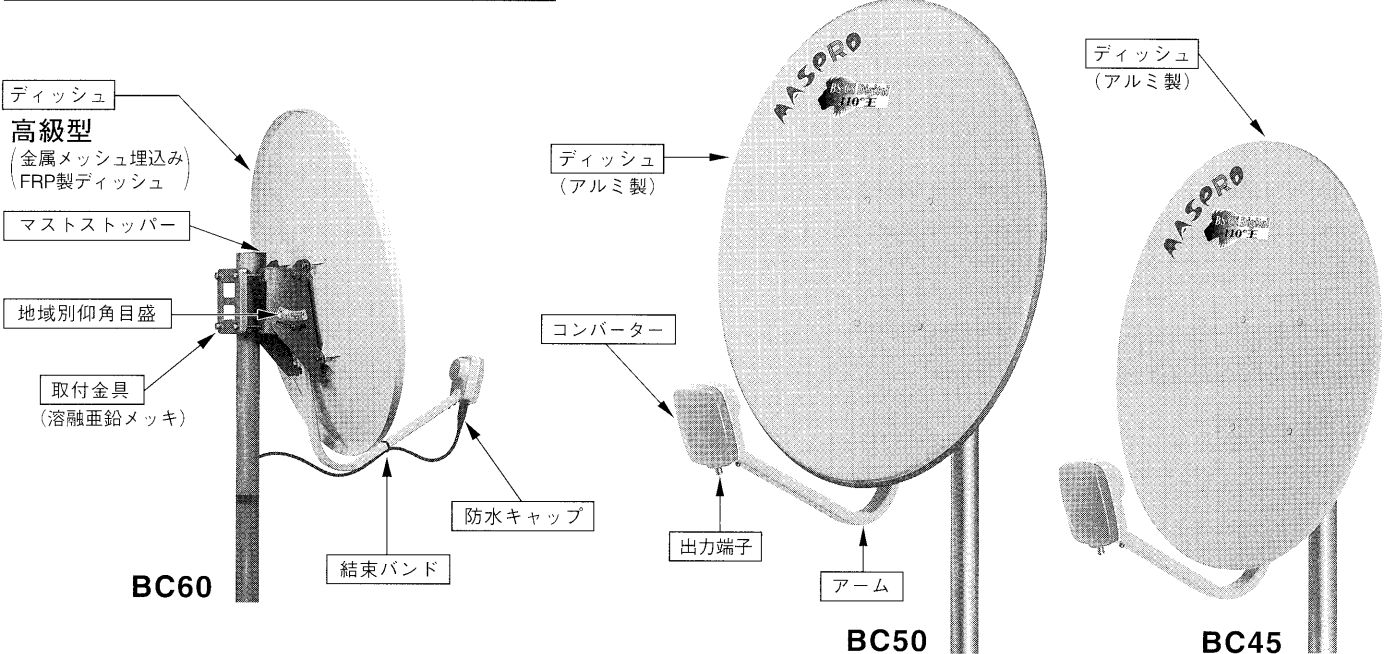
取扱説明書

BSディジタルハイビジョン対応

110°CSディジタル放送対応

110°CS右左旋円偏波用

BS・110°CS（スカパー!2, プラットワン）受信用です。
スカイパーフェクTV!は受信できません。

MASter of PROduction 生産の覇者

BS共同受信が可能

110°CSの左旋円偏波受信時でも，BSの信号を出力しますから，ホーム共同受信のすべての端子でBS放送が楽しめます。（特許出願中）

高性能G/T値を保証

G/Tは，アンテナ利得とコンバーターの雑音指数（NF）によって決まる衛星アンテナの総合性能です。
マスプロBCパラボは，高効率ディッシュと高性能コンバーターによって，BSから110°CSまでの広帯域にわたって最高水準のG/T値になっていますから，雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。

優れた位相雑音

局部発振位相雑音は，BS・110°CSディジタル放送を安定した画像で受信するために重要な性能です。マスプロのコンバーターは，マスプロ独自の発振回路設計により，優れた位相雑音を実現していますから，BS・110°CSディジタル放送受信に最適です。

110°CS右左旋円偏波を受信

（偏波面電圧切換方式）

ディジタルチューナーからの供給電圧（DC11V，15V）によって，右旋または左旋円偏波に切換えて受信できます。

JEITA BS Digital　BSディジタルマークは，（社）電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで，衛星ディジタル放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

⚠警告

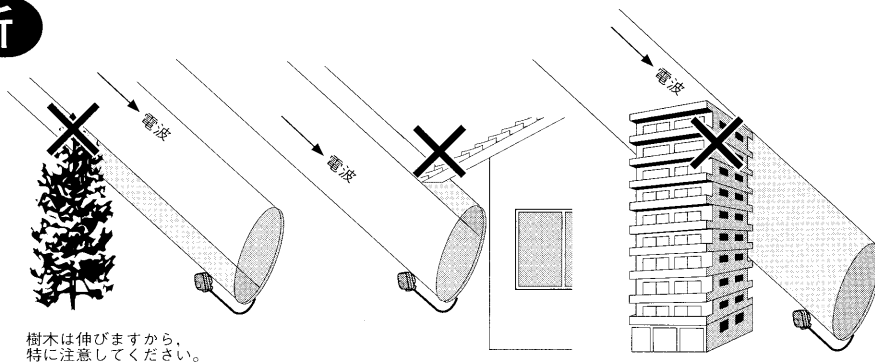
- 雷が鳴出したら，アンテナや引込みケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには，光沢がでる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線が反射して，コンバーターに集まり，やけど・故障の原因となります。(3月・10月初旬の13～15時には，特に熱くなります)

⚠注意

- アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや工具をヒモで結ぶなどの，安全対策をしてください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 強風のときは危険ですから，取付作業をおこなわないでください。

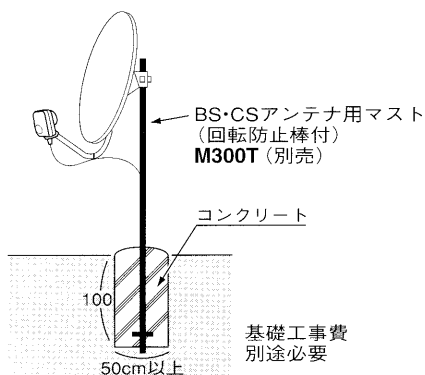
アンテナの設置場所

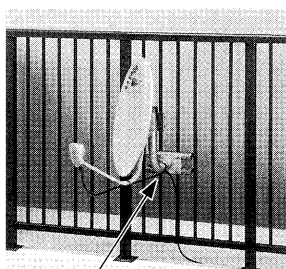
- アンテナが，しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の，斜め上方に，障害物（軒先，ビル，高架道路，崖など）のない場所へ設置してください。

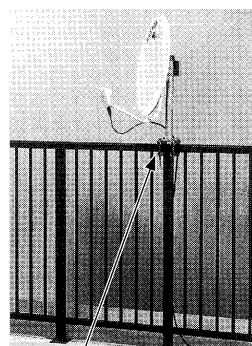
ご注意

BS・110°CSディジタル放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり，雪がアンテナに付着すると電波が減衰し，まったく受信できなくなることがあります。

アンテナの設置例

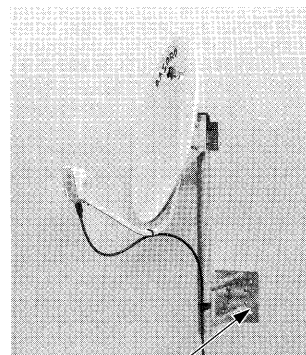
地上設置

- 庭にマストを建てて設置する方法です。
- 手がふれない高さに，アンテナを取付けてください。

フェンス設置

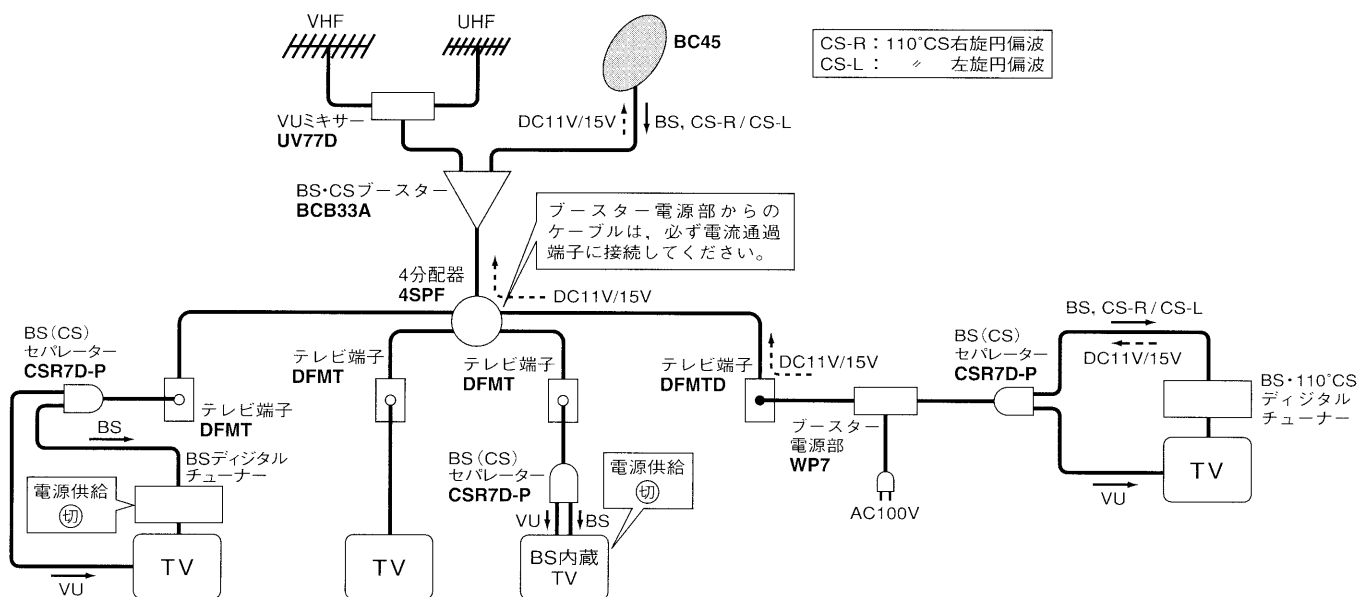
- 取付けは面倒ですが，フェンスの中央に設置すると，丈夫で見た目もよく，邪魔になりません。

BS・CSアンテナ用フェンスベース
HBM45（別売）

- 取付けはやさしいですが，邪魔になります。

BS・CSアンテナ用フェンスベース
FBM45（別売）

壁面設置

- 木造の場合，木ネジやくぎで，コンクリートの場合，アンカーボルトで，強度の充分確保できる壁面や柱・桁に，しっかりと固定してください。
- 雨水の浸入や強度不足のないように注意してください。

BS・CSアンテナ用サイドベース
SBM45E（別売）

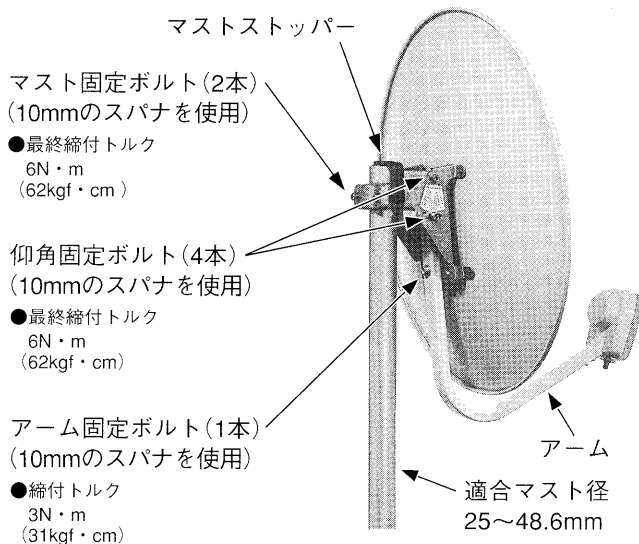
使用例

●110°CSディジタル放送は，右・左旋円偏波を切換えて受信する場合，1部屋でしか見られません。
右旋円偏波のみ受信する場合，すべての部屋で見ることができます。
●BS放送は，すべての部屋で見ることができます。

アンテナの組立･取付 （BC45）

① 組立ては，1本のボルトでアームを取付けるだけです。

② マストにアンテナを取付けます。

アンテナが左右に回転する程度に，マスト固定ボルトをスパナ（10mm）で締付けてください。

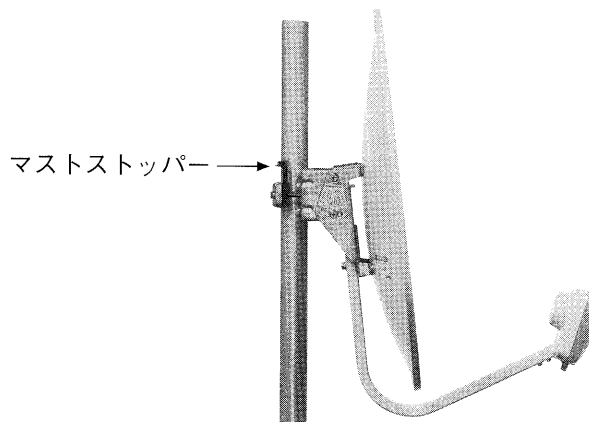
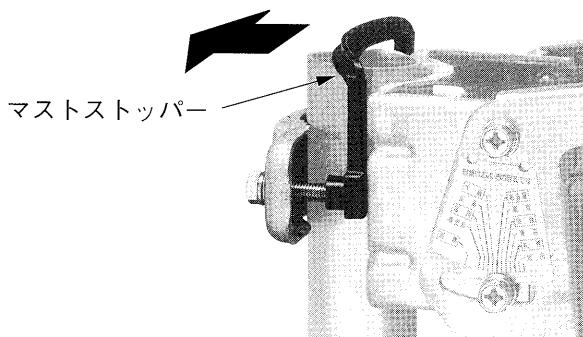
マストの先端に取付ける場合

⚠注意

アンテナは，強風の影響を受けやすいため，各固定ボルトを指定の締付トルクで，しっかりと締付けてください。
取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

ご注意

マストは，必ず鉛直に建ててください。マストが傾いていると，地域別仰角目盛が合わなくなり，簡単に方向調整できないことがあります。

マストの中間に取付ける場合

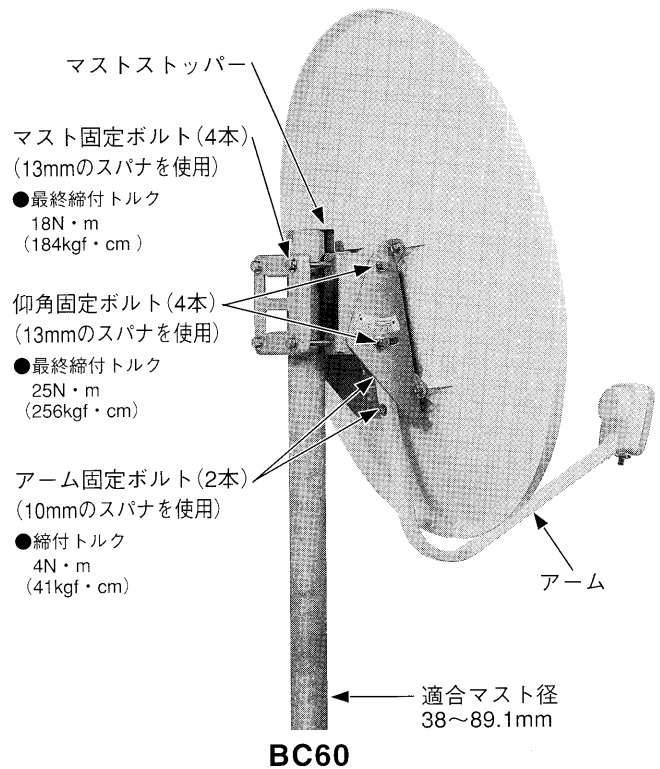
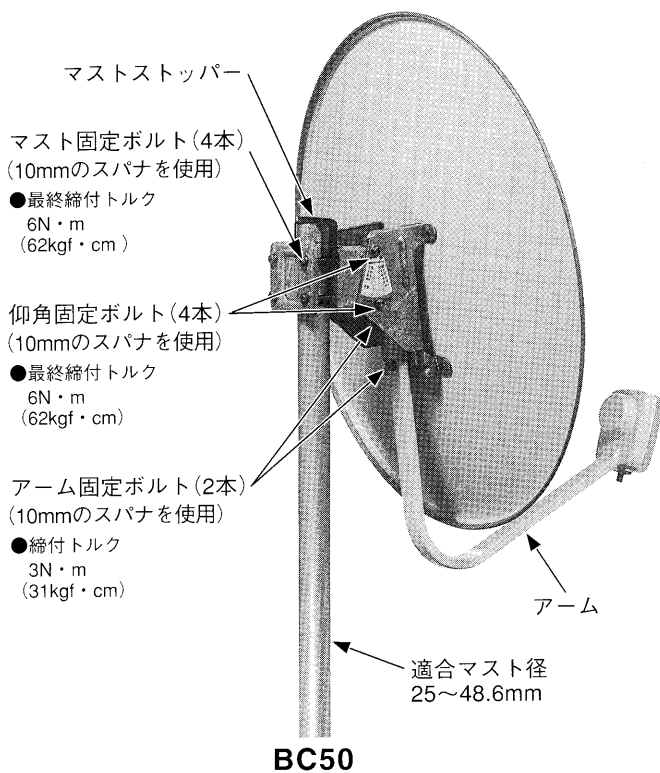
マストストッパーを矢印の方向に移動させてください。

アンテナの組立・取付
（BC50，BC60）

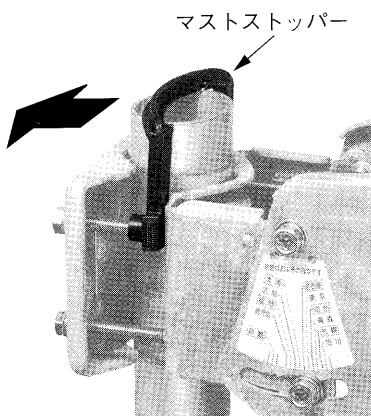
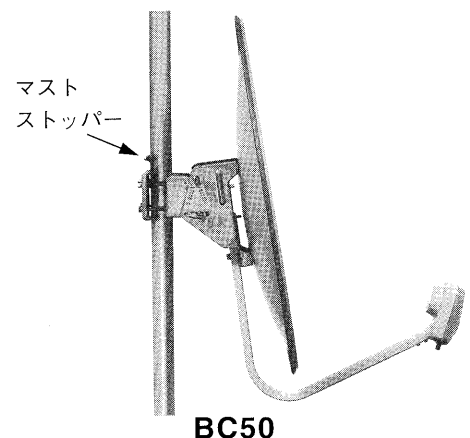
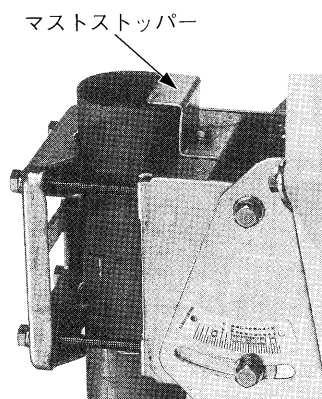
⚠注意
アンテナは，強風の影響を受けやすいため，各固定ボルトを指定の締付トルクで，しっかりと締付けてください。
取付けが不完全な場合，落下して，けがの原因となることがあります。

① 組立ては，2本のボルトでアームを取付けるだけです。

② マストにアンテナを取付けます。
アンテナが左右に回転する程度に，マスト固定ボルトをスパナ（**BC50：10mm，BC60：10mm，13mm**）で締付けてください。

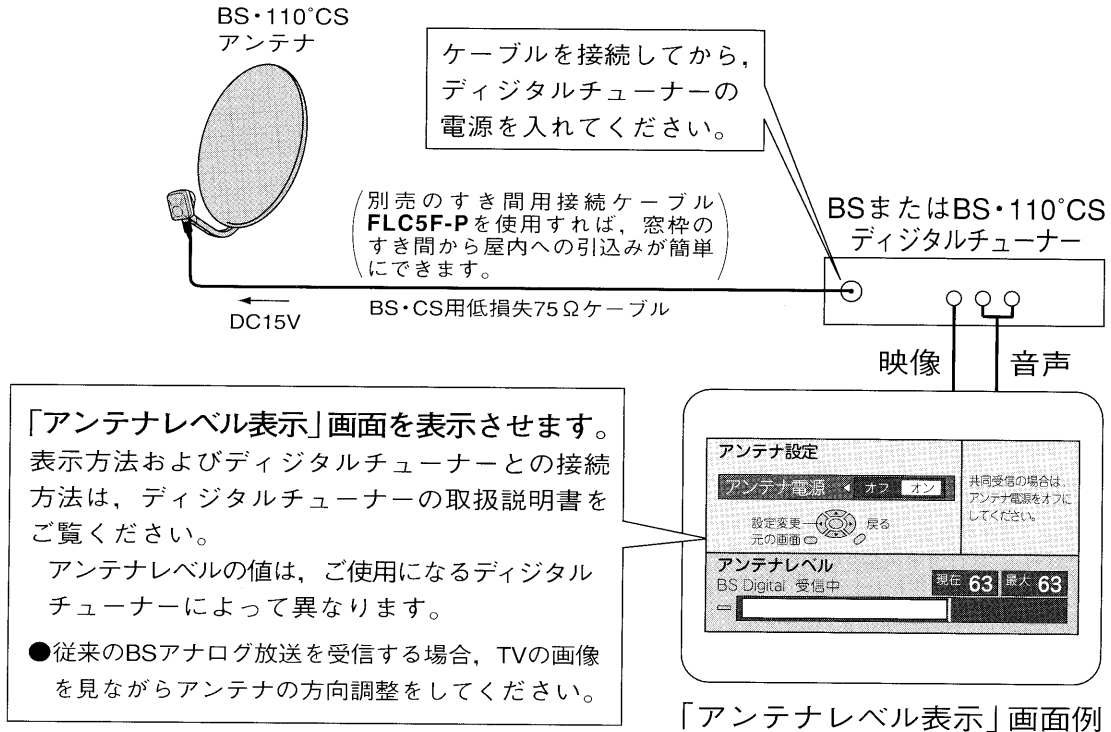
ご注意
マストは，必ず鉛直に建ててください。マストが傾いていると，地域別仰角目盛が合わなくなり，簡単に方向調整できないことがあります。

マストの先端に取付ける場合

マストの中間に取付ける場合

BC50
マストストッパーを矢印の方向に移動させてください。

BC60
マストストッパーを取外してください。

アンテナの方向調整

110°CSディジタル放送は，BS放送衛星と同じ軌道位置にあるCS衛星から電波が送られてきます。アンテナは，BSディジタル放送を受信して方向調整をします。

BS・CS用低損失75Ωケーブルで，アンテナとBSまたはBS・110°CSディジタルチューナーを接続します。
F型コネクターの取付方法とアンテナへの接続は，p.7をご覧ください。

受信する地域付近に①仰角目盛を，およそ合わせて，②アンテナを西南方向に向け，左右にゆっくり回せば簡単に映ります。

「アンテナレベル表示」画面例

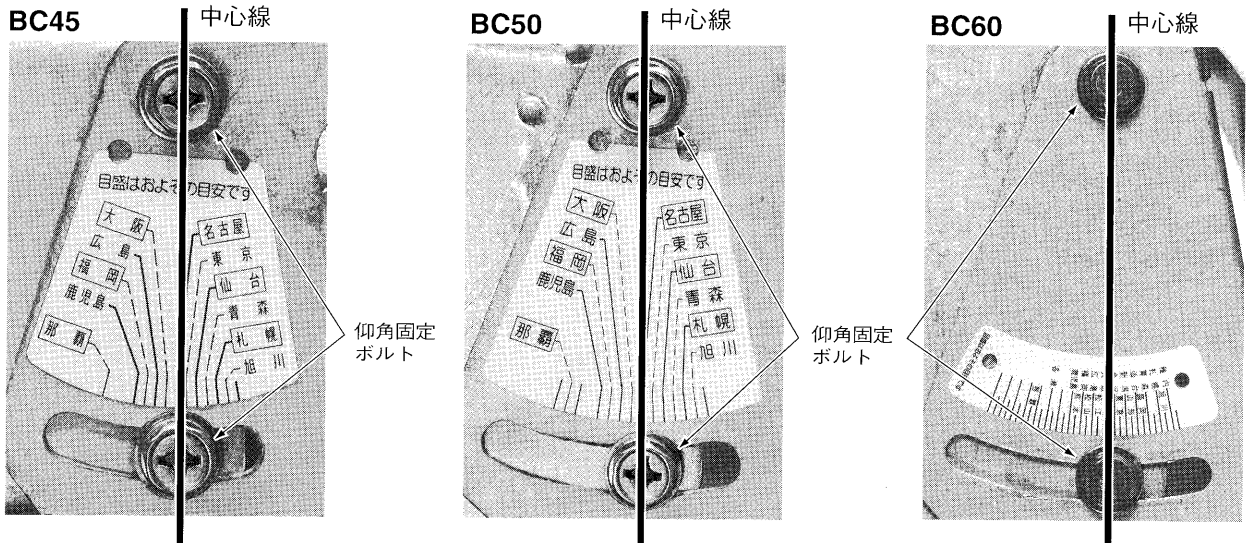
①仰角を合わせます。

仰角固定ボルトの中心線に，地域別仰角目盛に表示してある **地名** を，およそ合わせて，仰角固定ボルトを仮締めしてください。

●受信点がどの 地名 に該当しているかは，p.6の「地域別仰角目盛対応図」で確認してください。

地域別仰角目盛

（およその目安）

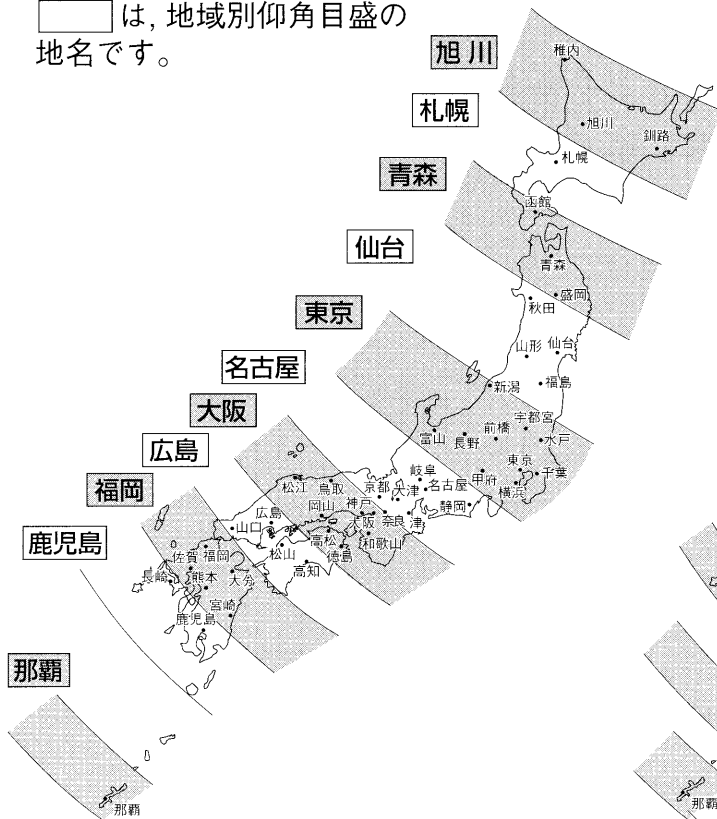
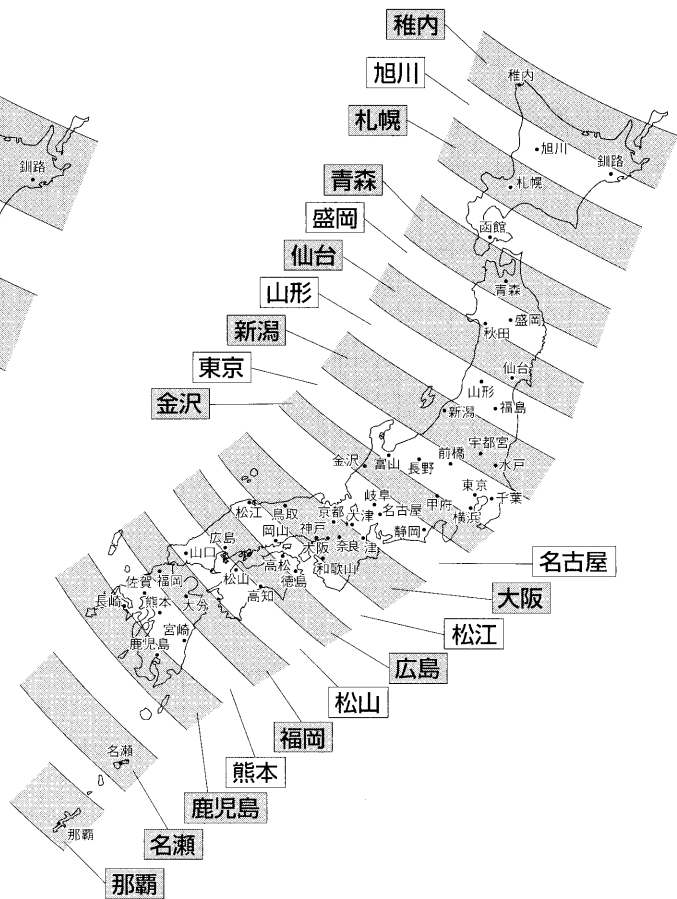
（名古屋に合わせた例）

地域別仰角目盛対応図

BC45, BC50

□は，地域別仰角目盛の地名です。

旭川
札幌
青森
仙台
東京
名古屋
大阪
広島
福岡
鹿児島
那覇

BC60

稚内
旭川
札幌
青森
盛岡
仙台
山形
新潟
東京
金沢
名古屋
大阪
松江
広島
松山
福岡
熊本
鹿児島
名瀬
那覇

② 方位角を調整します。

「アンテナレベル表示」画面を見ながら，アンテナを西南方向に向け，左右にゆっくり回してください。アンテナレベルがほぼ最大となるところで，マスト固定ボルトを仮締めしてください。

ご注意

アンテナは，ゆっくり動かしてください。
ディジタルチューナーは，アンテナレベルが変化しても，表示が変わるまでに少し時間がかかります。アンテナを速く動かすと，アンテナレベルの最大点が見つけにくくなります。

方位角の調整

③ 仰角・方位角を微調整します。

アンテナの仰角・方位角を再度調整して，アンテナレベルが最大となる位置で，各固定ボルトを指定の締付トルクで，締付けてください。

- きれいに映っているはずです。
  万一きれいに映らないときは，再度①からやり直してください。
- マストが鉛直であれば，再調整は不要ですが，マストが傾いているときは，②，③をくり返すことになります。

ご注意

締付部分は，初期ゆるみがありますから，数か月後，再度締直してください。

ケーブルの接続

① F型コネクターは，確実に取付けないと，受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

（ディジタルチューナーとの接続は，別売のF型コネクター**FP5**をご使用ください）

F型コネクターの取付方法

BS・CS用低損失75Ωケーブル**S5CFB**をお使いください。

❶ケーブルを，付属の防水キャップに通す

防水キャップ（付属品）

4C　5C

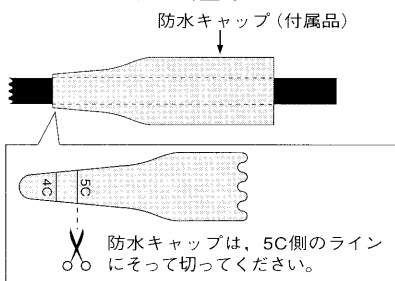
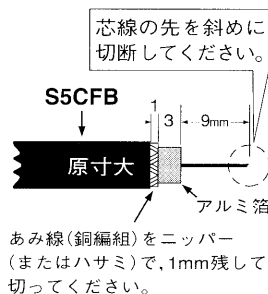
防水キャップは，5C側のラインにそって切ってください。

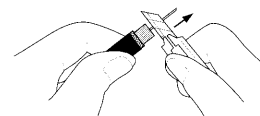
❷ケーブルの加工

芯線の先を斜めに切断してください。

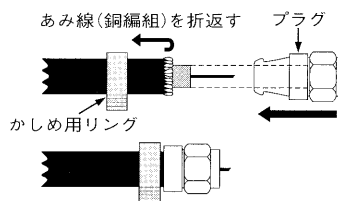
S5CFB　原寸大　1　3　9mm

アルミ箔

あみ線（銅編組）をニッパー（またはハサミ）で，1mm残して切ってください。

❸白い膜を取除く

芯線には白い膜が付いています。
導通を良くするために，必ず取除いてください。

❹プラグの取付

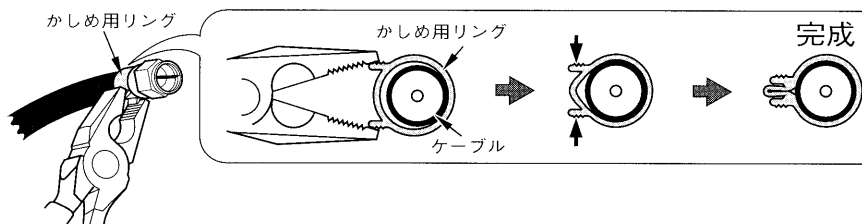
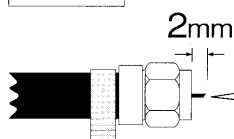
1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

あみ線（銅編組）を折返す　プラグ　かしめ用リング

❺かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。

かしめ用リング　かしめ用リング　ケーブル　完成

完成図

2mm

芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

芯線の長さは，必ず2 mmにしてください。

芯線は，まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

× 芯線　○ 芯線

② F型コネクターを，コンバーターの出力端子へ，しっかりと接続してください。付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押込んで，防水キャップが曲がらないように，ケーブルを結束バンドでアームに固定してください。

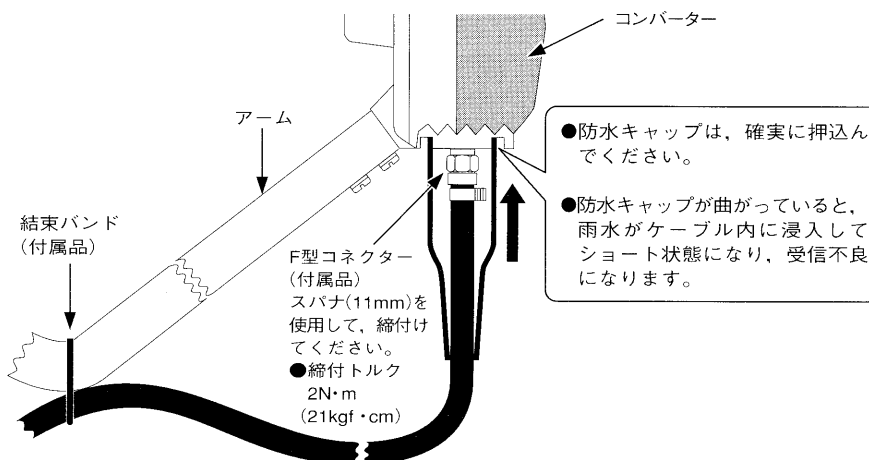
ご注意

F型コネクターの取付けができない方は，別売のコネクター付きケーブルをご利用ください。

10mケーブル **S5C10MM-P**
15mケーブル **S5C15MM-P**
20mケーブル **S5C20MM-P**

上記以外のケーブル長をご希望の方は，必要な長さを測り，電気店にご相談ください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 *Items*	BC45	BC50	BC60
受信周波数 *Reception Frequency*	BS：11.7～12.2GHz　110˚CS：12.25～12.75GHz		
受信偏波 *Polarization*	BS：右旋円偏波　110˚CS：右左旋円偏波		
アンテナ利得 *Antenna Gain*	33.7～34.6dB	34.5～35.4dB	36.1～37dB
開口効率 *Aperture Efficiency*	74～80％	72～78％	
性能指数（G/T） *Gain to Noise Temperature Ratio*	標準値　14dB/K （13.1～15.5dB/K）	標準値　14.6dB/K （13.6～16.3dB/K）	標準値　16.2dB/K （15.2～17.9dB/K）
風圧荷重 *Wind Loading*	26kg（風速40m/s） 59kg（風速60m/s）	36kg（風速40m/s） 81kg（風速60m/s）	48kg（風速40m/s） 108kg（風速60m/s）
受風面積 *Wind Surface Area*	$0.19m^2$	$0.26m^2$	$0.34m^2$
有効開口径 *Aperture Diameter*	450mm	500mm	600mm
出力周波数 *Output Frequency*	BS：1032～1489MHz　110˚CS：1572～2072MHz		
コンバーター利得 *Conversion Gain*	46～58dB		
局部発振位相雑音 *Local Oscillator Phase Noise*	標準値 ⊖64dBc/Hz（ 1kHzオフセット） 〃 ⊖82dBc/Hz（ 5kHz　〃 ） 〃 ⊖90dBc/Hz（10kHz　〃 ）		
雑音指数（NF） *Noise Figure*	0.6～0.9dB		
出力インピーダンス *Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）		
局部発振周波数安定度 *Local Oscillator Frequency Stability*	±1.5MHz以内		
使用温度範囲 *Temperature Range*	⊖30～⊕50℃		
電源 *Power Requirements*	左旋円偏波：DC11V　2.2W（標準値）　右旋円偏波：DC15V　3W（標準値）		
質量（重量） *Weight*	約1.4kg	約2.2kg	約5.3kg
外観寸法（仰角 40˚のとき） *Dimensions*	555（H）×460（W）×470（D）mm	645（H）×528（W）×575（D）mm	725（H）×619（W）×645（D）mm
適合マスト径 *Adaptable Mast Diameter*	25～48.6mm		38～89.1mm

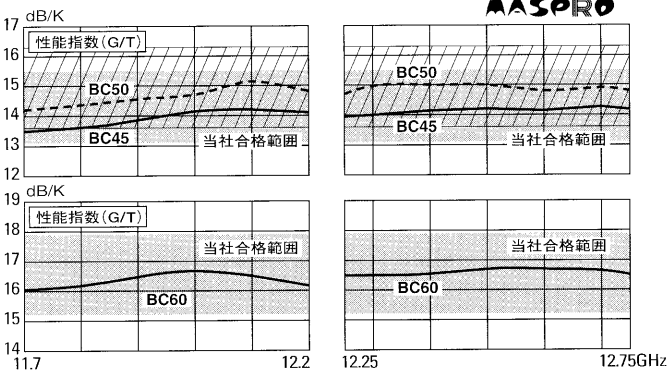
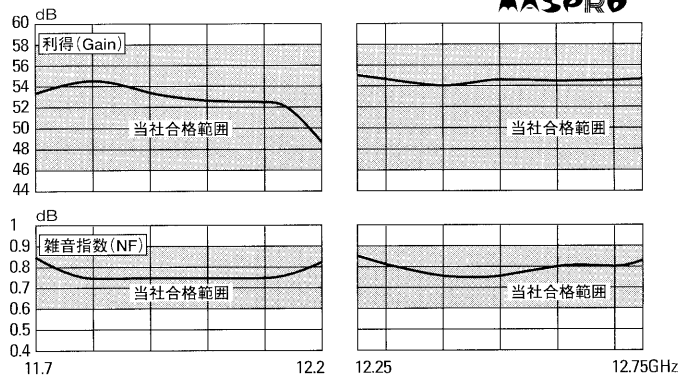
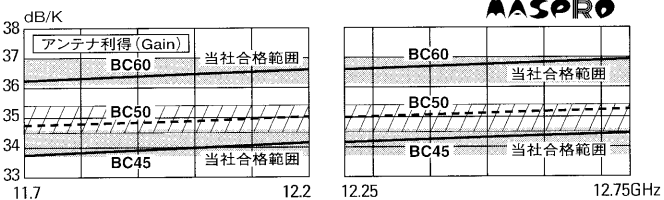
マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

MASter of PROduction
生産の覇者

周波数特性 Frequency Characteristics

G/T

コンバーター部

付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）…… 1個

防水キャップ ………………………… 1個

結束バンド（ケーブル固定用）

BC45、BC50 …………… 1本

BC60 …………………… 2本

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの

＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町

営業部 TEL 名古屋 (052)802-2244

技術相談 〃 (052)805-3366

インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所

沖縄 (098)854-2768　熊本 (096)381-7626

鹿児島 (099)812-1200　長崎 (095)864-6001

福岡（支）(092)531-3861

宮崎 (0985)25-3877　北九州 (093)941-4026

下関 (0832)55-1130
徳山 (0834)32-2954
広島 (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
姫路 (0792)34-6669
神戸 (078)843-3200
大阪（支）(06)6635-2222
工事営業部 (06)6632-1144
京都 (075)646-3800

津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
名古屋（支）(052)802-2233
工事営業部 (052)804-6262
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
新潟 (025)287-3155

横浜 (045)784-1422
渋谷（支）(03)3409-5505
工事営業部 (03)3499-5631
秋葉原 (03)3255-7335
青戸 (03)3695-1811
八王子 (0426)37-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)660-5008

郡山 (024)952-0095
仙台 (022)786-5060
盛岡 (019)641-1681
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
函館 (0138)53-7355
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
北見 (0157)61-0480

2K55-092

N-26-4092-1L

JUN., 2002